



平成30年4月18日

各 位

会 社 名 ディーエムソリューションズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 花矢 卓司
(コード番号: 6549 東証JASDAQ)
問合せ先 執行役員管理部長 吉田 慎一郎
(TEL 0422-26-7147)

通期業績予想の修正及び役員報酬の減額に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成30年4月18日開催の取締役会において、平成29年6月20日に公表した平成30年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、このたび利益面において当初の業績予想を修正せざるを得ない結果となりましたことを真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、役員報酬の減額を実施することを決定いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成30年3月期通期業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 10,260	百万円 280	百万円 273	百万円 169	円 銭 70.73
今回修正予想 (B)	10,438	174	170	117	48.95
増減額 (B-A)	178	△ 106	△ 103	△ 52	
増減率 (%)	1.7	△ 37.9	△ 37.7	△ 30.8	
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	9,129	263	264	170	77.32

(注) 当社は平成29年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っており、前期期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

2. 修正の理由

売上高につきましては、ダイレクトメール事業は堅調に推移し当初予想数値を上回るものの、インターネット事業で展開しておりますパーティカルメディアサービスにおいて、当社運営サイトへの訪問数が想定したペースで推移しなかったこと等により当初予想数値を下回り、会社全体としてはほぼ当初予想どおりとなる見込みです。

利益面につきましては、当事業年度第2四半期までの堅調な業績動向を鑑みて行いました、インターネット広告市場の環境変化に対応するための人材の採用及び採用の強化を目的とした新宿オフィスの開設等の、当初予想数値では見込んでいなかった先行投資の費用が下期より発生したことに加え、上記の通りパーティカルメディアサービスにおいて広告収入が減少したこと等により当初予想数値を下回る見込みとなりました。

これらの結果、通期業績予想を上記のとおり修正いたしました。

3. 役員報酬の減額について

(1) 役員報酬減額の内容

代表取締役社長及び取締役副社長	： 月額報酬の33%
上記以外の常勤取締役	： 月額報酬の10%－30%

(2) 減額の対象となる期間

平成30年4月より12ヵ月間

(注) 上記の業績予想は、現時点における入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上